

(11) 社会福祉学教育における授業モデルの検討

社会福祉学教育FD/ICT活用研究委員会は、22年6月、10月、12月、23年3月の4回開催し、学士力の実現に求められるICT活用の授業モデルの検討を行った。

国家試験に偏らない幅広い学習を目指して、小グループ活動や、施設訪問、実習などを通じて学びが社会に関与できる能力を身に付ける授業デザインを2例とりあげることにした。

一つは、生活に関わる諸問題を把握し、社会福祉の意義と機能を理解する能力を身に付けるため、グループ学習や事例演習を通じて考える力を養うことを目指して、現場の話聞き、人に接して情報を収集し、考察の結果を掲示板などで発表し、相互評価を行うとともに、社会に公表し、社会の意見を踏まえた振り返り学習を行う授業モデルとした。

二つは、ソーシャルワークの視点から問題解決の方策を考える能力を身に付けさせるため、国内外の関係機関とICTをつないでディスカッションやディベートなどを行い、世界基準での問題意識、解決力、解決手段の提案力を育成する授業モデルとした。